

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名	岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第3回)		
2 開催日時	令和7年1月31日 (金)	13:30～15:00	
3 開催場所	岐阜北高等学校校長室		
4 参加者	会長	村瀬 忍	岐阜大学教授 (欠席)
	副会長	大野 幹根	P T A会長
	委員	可児さおり	保護司
		澤井 隆彰	人材育成コンサルタント
		高橋 信明	則武自治会連合会長
		西川 光美	令和3年度P T A会長 (欠席)
		古田菜穂子	同窓会 (北斗会顧問)
		吉田 和也	岐阜青年会議所理事
	学校側	上田 和伸	校長
		小島 和秀	教頭
		日下部 光	教頭
		小枝 千穂	教務主任
		坪内有美子	進路指導部長
		若狭 幹大	生徒指導部長

5 会議の概要 (協議事項)

(1) スクール・ミッションの策定について

○スクール・ミッション案について、協議・検討した。

意見1 大変すばらしいスクール・ミッションである。

意見2 本校がスクール・ポリシーを大切にしていることで、端的で良いスクール・ミッションが策定できたのではないかと。

意見3 スクール・ミッションの中にある「グローバル・リーダー」を目指すことは大変困難なことだが、それに挑戦していくという方針が今後の本校の一つの特徴となっていくのではないかと。

(2) 探究活動について

意見1 探究活動の取組は年々良くなっている。名古屋大学を訪問しての留学生相手の探究活動プレゼンテーションでは、全てを英語で行っている。今年度より、プレゼンテーションの作成方法を変更した。この変更は、AIに頼らない、自分で英語の文章を作っていく点で成果があった。様々な文化圏の人への伝え方を工夫することは、スクール・ミッションの中にある「グローバル・リーダー」の育成のために有効な探究活動だったのではないかと。また、今年度の本校の探究活動のテーマは、「手触り感」であった。自分の身近な問題を課題としたことで、従来のインターネット調べ学習だけで終わらない探究活動に取り組めるようになった。

(3) オンライン授業について

意見1 不登校の生徒にはどのような対応をしているのか。

→ 今年度より、状況に応じてオンライン授業を実施している。オンライン授業には、受講条件があり、全ての生徒が受講できるわけではない。また、取得できる単位数には上限があり、あくまでも学びを止めないというサポートになる。

(4) 進路指導について

意見1 進路選択において高みを求めている生徒達は引き寄せあうので、そういう生徒が多くいることが本校の発信力になる。さらに高みを求めている生徒、例えば、医学部医学科や難関の国公立大学の希望者はどの程度いるのか教えてほしい。

→ 難関の進学先を目指す生徒は、学年毎に変動がある。結果的に国公立大学何名という数字

はであるが、本人の希望をいかに叶えるかということに重点を置いており、本校に入学してきたときの将来への夢を叶える生徒の数を増やしていくという思いで指導している。本校の進路希望調査において入学時の進路希望を3年間維持している生徒が多いのは、生徒の努力と教員の励ましの証ではないか。

(5) 交通安全指導について

意見1 自転車通学者への苦情が多いということだが、本校の生徒への苦情なのか。

→ どちらともいえない場合がある。通報者の連絡先がわかる場合は確認等の対応をしている。

意見2 ヘルメット着用率は、数字的には増加しているがそのような実感はないのはどうしてなのか。

→ ヘルメットを持っていても被っていない生徒がいる。所持している生徒が増えてきたのは成果である。

意見3 自転車で転倒したときにヘルメットは自分を守ることを生徒に指導してほしい。

(6) その他

意見1 本校では、防犯に関する強化などがあるのか。本校の近隣の自治会地域では防犯カメラが16台あり、岐阜県警と連携をとっている。防犯カメラは道路や公園に設置されていて、2週間分の録画が保存されている。また、防災士の会があり地域の中学生と協働して炊き出しなどを行っている。来年度も同様な活動を続けるので機会があれば本校も参加してほしい。

→ 本校でも防犯カメラを設置している。また、門には防犯カメラの設置についての表示をしている。本校では制服選択制を導入しており、私服での通学が可能な期間がある。私服の生徒と外部からの侵入者が判別しにくくなったため防犯カメラを設置した。

意見2 今年度は近隣自治会主催の夏祭りに本校生徒が参加し、大変盛り上がった。地域の活動に中高生が参加することが少ないので、本校生徒の参加は、大変有難かった。来年度もぜひ参加してほしい。

意見3 社会参画というと、地域づくりや町づくりで地域振興に参画することと考える人が多い。政治は身近なものであるということや自分が社会を作っている一員であることなどの社会をとらえる視点を持つことも重要である。本校は自由な雰囲気があるのでそのような視点を持たせる指導も取り入れてほしい。

→ 自由という言葉は難しく、社会常識を分かったうえで自由が大切であり、理想としている。これからの世の中をどう見るかということが重要である。本校では、何かを変えようという部分について、学校の中で生徒が改善していきたいと考えたことを教員も交えて話し合い、ルールを変えていくということを成功体験として実施している。例えば、今年度、昼休みの時間が短いという生徒からの意見があり、校時の試行期間を実施し検証している。授業や生活の中に「探究」があるので、それを拾い上げていく習慣をつけていくことが社会を変えていくような生徒を育てていくことに繋がると考える。

意見4 前述のような本校独自の特徴は、本校のアイデンティティとなっていくのではないか。

→ 生徒指導のキャッチフレーズに、「生徒が決める・生徒と決める北高」がある。ルールメイキングの成果として、制服選択制がある。「生徒が決める・生徒が変える・生徒が生徒を自治できる」という生徒主導を目指している。最近では、苦情が多いことに対する危機感が生徒の中にも出てきているので、少しずつその芽を育てていきたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、スクール・ミッションの策定、自校評価として各校務分掌の一年間の活動について学校職員から説明し、その内容について協議した。

本校のスクール・ミッション案については、全ての委員から承認が得られた。

本校の自校評価についての意見交流では、本校の現状について具体的な協議を行った。本校の取組について委員からは概ね高い評価が得られた。